

あなたが支える市民活動応援事業実績報告書

大分市長 足立 信也 殿

所在地 大分市大南地区文化財同好会
団体名 会長 西 哲弘
代表者氏名 大分市大字中戸次4491-2
電話 097-597-0259
担当者名 [REDACTED]
担当者連絡先 [REDACTED]

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第13条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 交付決定年月日 | 令和 7年 9月 9日 |
| 交付決定番号 | 協働第1665号 |
| 2. 事業名 | 大南地区文化財等保存及び継承事業 |
| 3. 補助金の交付決定通知額 | 168,026円 |
| 4. 補助金の概算交付額 | 168,026円 |
| 5. 補助金の精算額 | 168,026円 |
| 6. 事業の成果 | |

地域の文化の顕彰・継承及び史跡の保存を図ることを目的に、講演会、機関誌「落穂」の発刊、子ども向けパンフ等を通じて、地域住民及び市内外の方々に情報発信ができた。また、大南公民館で、地区住民を対象に歴史講座を行い、文化の継承を図ることができた。

7. 添付書類 (1)あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書
(2)あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書
(3)その他市長が必要と認める書類



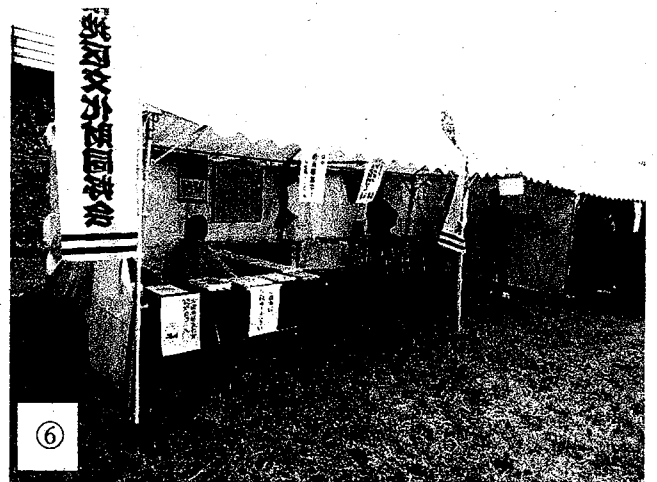
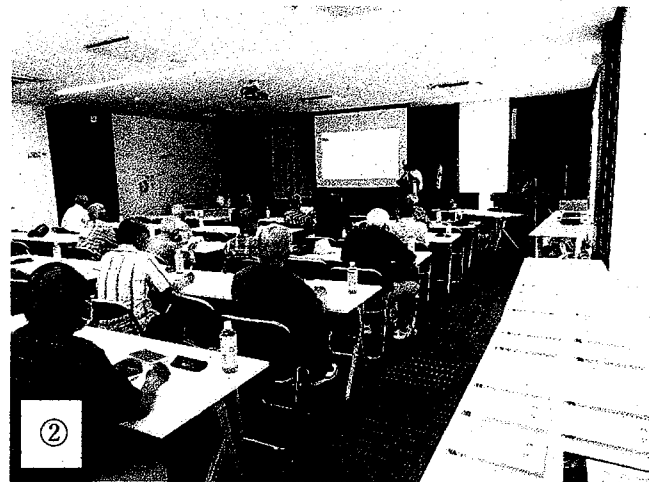
(この内容は、大分市のホームページ等で公表いたします。)

あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書

団体名	大分市大南地区文化財同好会			
事業名	大南地区文化財等保存及び継承事業			
主な活動地域 ※該当する□に チェックしてく ださい。	<input type="checkbox"/> 市内全域 <input type="checkbox"/> 大分中央 <input type="checkbox"/> 大分東部 <input type="checkbox"/> 大分西部 <input type="checkbox"/> 大分南部 <input type="checkbox"/> 南大分 <input type="checkbox"/> 鶴崎 <input checked="" type="checkbox"/> 大南 <input type="checkbox"/> 植田 <input type="checkbox"/> 大在 <input type="checkbox"/> 坂ノ市 <input type="checkbox"/> 佐賀関 <input type="checkbox"/> 野津原 <input type="checkbox"/> 明野			
実施時期 実施場所 実施内容 (目的・経過等) ※別紙添付可	時期 (月)	実施場所	受 益 対象者数	実 施 内 容 ※目的・経過等をできるだけ詳細に
	別紙の とおり			
使用した 広報手段と その効果	<input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> チラシ、広報誌 <input type="checkbox"/> facebook等のSNS <input checked="" type="checkbox"/> その他(具体的に) ・機関誌「落穂」91号を会員、関係機関(国・県・市の図書館等)に寄贈。			
	広報の効果 <p>大南公民館の教室・講座「歴史散歩」と「古文書解説事始め」は、いずれも熱心に講師の話を聴講し、学びを積み重ねた。「歴史散歩」では、5回のうち3回は室内での講義、2回が現地踏査であった。講義の1回目が「御料豊後國大分郡安田村史料」を読み解き、江戸時代の年貢の実情から、当時の農民の生活の一端を知ることができた。2回目は、「先の大戦終結から80周年を迎えて～あの戦争は何だったかを考える～」と題し、大戦終結の原因や終結時の周囲国との交渉状況等について、説明を受けた。</p> <p>現地踏査は、「ふたつの大友氏館～南蛮 BVNGO 交流館隣接の大友氏遺跡・館跡庭園及び大友氏遺跡上原館跡～」の見学を行い、大友宗麟の生きた当時の様子を体感し、庭園が持つ様式を理解するとともに宗麟の業績にも触れることができた。</p> <p>2度目の踏査は、「判田権現山の招魂祭場～太平洋戦争戦没者共同墓地～」を訪れた。踏査の前の講座で、権現山の共同墓地にかかわる様々な知識や当時の様子などをまず理解した。実地踏査では、各種石碑に刻まれている内容などについての説明を受け、当時の歴史的状況等から改めて「平和とは何か」について考える契機となった。</p> <p>「大友三代の手紙を読む」古文書解説事始めでは、中世の大友家に関する文書を読解し、義鑑、義鎮、義統三代にわたる手紙とその解説が講義の中心で、古文書に書かれている大意と解説も付け加わり、意義ある講義となった。</p>			

活動目標の報告	<p>会費収入、事業収入や寄付金収入等の自己収益金の拡大、参加市民等の受益対象者の増加目標に取り組んだ結果</p> <p>1 自己収益拡大に向けて 会員数：54名 会員以外への機関誌「落穂」販売冊数：36冊 大南地区の高齢化率は、30%を超えている。特に、上戸次・竹中校区は50%を超えており、過疎化が益々深刻な状況となっている。 こうした中、会員の高齢化も進み、死亡したり、自力参加が困難となったりしたため、退会を余儀なくされるという事態が進んでいる。 また、大南公民館主催講座の「古文書解説事始め」や「歴史散歩」、大野川合戦まつりなどの機会を通して、会員の勧誘を鋭意続けてきているものの、会員数の減少傾向に歯止めがかからないことが、収益が増えない主たる原因となっている。継続して文化財同好会への勧誘活動を進めるとともに、魅力的な機関誌「落穂」づくりについても、創意工夫を図っていきたいと考えている。 また、機関誌「落穂」の販促のため、教室・講座のみならず、各種のイベントにおいても、販売ブースを設けて、売り上げを伸ばしたい。</p> <p>2 受益対象者を増加させる取り組み 対象者数 目標：1000人 実績：972人 「大野川合戦まつり」での広報宣伝活動に力を入れるとともに、大南公民館や4校区の公民館、さらには小中学校との連携を工夫・充実するなどして、活動の活性化に努め、受益対象者の拡大を図った。 合戦まつりでは、350人の方が同好会のブースにお見えになり、四国や福岡県からの武将の子孫・関係者70人が、まつり会場や成大寺、慰霊碑などを訪れたので、役員を中心に対応した。 この他、大南公民館の主催講座には延べ274人の参加があり、講師の話に熱心に耳を傾け、事後のアンケートからも充実した感想を多くいただいた。全体としては目標とする受益対象者数には届かなかったが、いずれも事業においても参加者等からの納得の声を聞くことができた。</p>
事業の成果	<p>地域への効果について（対象地域にどのような効果があらわれたのかを記入）</p> <p>11月開催の「大野川合戦まつり」には、市内外から多くの来訪者があった（県外からの来訪者もあり）。大南公民館の教室・講座である「手作り甲冑教室」で作成した甲冑の展示ブースに隣接させて、文化財同好会のブースにも多くの方に足を運んでいただいた。戸次川合戦関連の掲示物や機関誌「落穂」の展示等を行い、多くの質問が寄せられた。</p> <p>市民への効果について（市民福祉の向上にどうつながったのかを記入）</p> <p>会員には高齢者が多くいるが、研修会をすると、知人・友人との久々の再会を喜び、さらに長生きをしようというエネルギーが湧いてくるようだ。年度内に2回の研修会を行い、有意義な会となった。同好会会員が若干増えたことも、ありがたかった。会員の高齢化が進み、体が不自由になったり、死亡したりして、会員が減少傾向にある。それに伴い、会費収入が減少傾向にあり、調査・研究や案内等にも苦心している。今後の同好会の活動に工夫の余地がある。 例えば、特に60代以下の会員募集に向け、大南公民館主催教室・講座、秋季研修会、各種イベントの機会を勧誘の取組を鋭意進めていくことなどがあげられる。また、機関誌「落穂」の原稿募集や会の活動内容そのものにも再考する必要性が生まれてきている。</p>
来年度に向けた課題	<p>戸次本町街づくり推進協議会との連携により進めてきた「大南郷土カルタ」の作成が完了した。今後は、カルタを活用していただきながら、楽しんで郷土理解を深め、郷土愛を育む契機となるような活動も展開していきたい。</p>

令和7年度 大南地区文化財同好会の活動の様子



- ①②・・・6/28(土) 令和7年度総会&研修会「戸次川合戦図からみる戦国期大友氏の甲冑」
- ③・・・11/29(土) 令和7年度秋季研修会「機関誌『落穂』投稿者による研究発表会」
- ④・・・2/5(木) 大南公民館歴史講座「歴史散歩～判田権現山の戦没者共同墓地～」
- ⑤・・・2/19(木) 大南公民館歴史講座「古文書解読事始め～大友三代の手紙を読む～」
- ⑥・・・11/8(土) 大野川合戦まつりでの同好会テナントブースの開設

あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書

事業名： 大南地区文化財等保存及び継承事業

1 【収 入】 (単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
補助金収入	168,026	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会費収入	111,916	会費の一部
事業収入	40,000	機関誌「落穂」売却益(1,000円×37冊, 500円×6冊)
寄附金収入	0	
その他	0	
合 計	319,942	

2 【支 出】 (単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
報 償 費	0	
旅 費	0	
消耗品費	5,060	文具代、用紙代
燃 料 費	0	
食 糧 費	6,192	熱中症対策用飲料等
印刷製本費	278,850	機関誌「落穂」発刊(91号)150部印刷代 既刊「落穂」の増版印刷代(復刻版)、索引集
通信運搬費	14,840	案内用切手代、ハガキ代、「落穂」の寄贈代
広 告 料	0	
保 険 料	0	
手数料・委託費	15,000	史跡整備費委託料(補助対象外)
使用料・賃借料	0	
原 材 料 費	0	
備品購入費	0	
合 計	319,942	補助対象経費 304,942円

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。

なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。